

市長の

# やまがた自慢

## 「夏野菜とだし」

一年を通じて農作物が豊富な山形市ですが、おいしい夏野菜の季節がやってきました。市内の農家の皆さんが確かな技術で素晴らしい野菜を生産しています。

「きゅうり」は山形市が農林水産省の産地指定を受けている、市を代表する夏野菜です。飯塚地区を中心とした市内西部や南部を中心に生産されています。みそをつけ「もろきゅう」として食べても、また、漬物にしても本当においしいいただけます。

また、「なす」はたくさん品種がありますが、山形市では細長い卵形のものが多く栽培されています。また、大郷地区で主に栽培されている小なす「蔵王サファイヤ」は皮が柔らかく、なす漬けにして丸ごとかぶりつくのが最高です。

そして、その夏野菜を最大限に生かした郷土料理の「だし」は、最近では全国的にも知られるようになりました。きゅうりやなす、みょうがなど、その時々々の夏野菜を細かく刻み、オクラや納豆、昆布（刻み昆布）などを混ぜてねばりを出します。ごはんや冷やっこにのせるなど、さまざまな食べ方ができ、暑い夏でも食欲をそそる素晴らしい郷土料理ですが、そもそも野菜がおいしくないと成り立ちません。山形産野菜のレベルの高さの証左ともいえます。

これからの暑い季節、夏野菜を食べて乗り切ってくださいませよう！



山形市長 佐藤孝弘



## ぶどうで、夏の疲れをとろう。

ブドウ糖で疲労回復、ポリフェノールで動脈硬化予防や眼精疲労ケア。暑い季節においしく食べて、体をいたわりましょう。

食べる時はツルに近い方が甘いので、下から上へどうぞ。

山形市の西部・南部を中心に栽培されており、デラウェアのほかピオーネやシャインマスカットなど大粒品種も直売所やスーパーで人気です。7月～10月頃まで、いろんな種類を食べ比べてみてください。



問 農政課内市食育・地産地消推進協議会 ☎内線455



## かわいいだけじゃ、守れない。

「猫のふん尿で困っている」という相談が、センターに寄せられています。猫を屋外に出すと、迷子やけが、事故の危険性だけでなく、ふん尿により地域の邪魔者として扱われてしまうことも少なくありません。

また、猫は繁殖力が非常に強く、あっという間に数が増えてしまいます。その後に大変な思いをするのは人ではありません。大切な命を守るために、できることがあります。

- 完全室内飼いで
- 首輪や迷子札、マイクロチップの装着を
- 不妊・去勢の手術を



## この子と暮らしませんか。



ちび♀ 推定10歳 キジ三毛

慣れると触らせてくれ、声をかけると「ニャー」とお返事してくれるおしゃべり上手な子です。一緒にいるだけで和みます。



ふわり♀ 推定2歳 白黒長毛

気品ある見た目に反して甘えん坊。たまにかわいい猫パンチが飛びますが、愛嬌たっぷりの優しい子です。



問 動物愛護センター ☎681-1210